

## 第七回日本物流学会若拓研究会開催のご案内

日本物流学会若拓研究会 座長  
町田 一兵（明治大学商学部教授）

日本物流学会若拓研究会は、大学院生、若手研究者が研究成果やアイデアを発表し合っ、お互いの情報交換や研究の活性化を目的とします。

博士前期・後期の大学院生、物流業界に務めて 5 年前後の若い方に参加・発表の場として活用してもらいたいと考えております。また、本研究会の参加者は会員ないし今後学会に入る予定の方を対象にしているため、現時点では日本物流学会の正（準）会員でなくても **参加可能** です。

かつ、大学で務める研究者に対し、これまで先端的な物流研究の成果発表の場として「ロジスティクス・フロンティア研究部会」で実施してきた研究発表も引き続き「若拓研究会」で行う予定です。その際、日本物流学会の会員であれば、特に年齢、経歴の制限はありません。

つきまして、第七回日本物流学会若拓研究会を下記の時期で開催したい。ZOOM 形式で開催を行います。

### 開催時期

2022 年 7 月 23 日（土曜日）午後 13：30～  
ミーティング ID: 993 7063 9099  
パスコード: 004816

### 発表内容

- ① 「現場から見た COVID-19 がグローバルサプライチェーンに与えた影響についての一考察」（30 分）  
発表者：石原 祐介（いしはら ゆうすけ） 東洋メビウス株式会社東日本営業部第二課
  
- ② 「上海地域におけるオミクロンの拡散による物流への影響について」（30 分）  
発表者：楊 東明（Yang Dongming）東興物流株式会社 代表取締役社長

**※事前登録は必要ありませんが、当日参加される方は必ず名前と所属を明示するようにしてください。**

敬具